

もうすぐ文化総合発表会です

広徳中学校の生徒の皆さん、保護者の皆様、校長の児島です。10月も残り少なくなって、やっと冬服で登校する生徒がちらほらと出てきたようです。校内からは11月の文化総合発表会に向けて、素敵な歌声が響いてくるようになりました。コロナ禍の時を経て、広徳中学校の合唱は先輩から後輩へと受け継がれてきました。私がかつて在籍していた時も、この季節になると、各クラスから歌声が響いてきていたのを思い出します。この素敵な伝統を大切に思い、毎日の練習にはげんでほしいと思っています。今年は初めて全校合唱にチャレンジすることになっています。全校生徒の皆さんの素敵な歌声が、今から本当に楽しみです。



【1年生の合唱はとても楽しいです】

〇 先生たちも毎日が勉強です その2

今月は、先生たちが授業をお互いに見せ合って勉強する「互見授業」の取り組みを行っています。



今回は、3年生の高時先生が数学の授業を公開してくださいました。3年生になると、さすがに数学は難しい内容になっています。その中でも2次関数といえば、高校入試問題にもよく出題されるような大切な単元ですが、高時先生の授業では、「関数 $y = ax^2$ (2乗) と自動車の制動距離」ということで、体験的な要素や実生活に近い学習をしながら身の回りにも関数があるということを学ぶことができていました。

生徒の皆さんはワークシートのグラフやパワーポイントの動画から体感的に制動距離（ブレーキを踏んでから車が止まるまでの距離）について考えていました。

3年2組の生徒の皆さんは、いろいろな先生が見守る中、担任の高時先生の研究授業を成功させようと積極的に授業に参加していて、とても暖かくてまとまりのあるクラスになっているようです。児島も、この学習をとおして安全運転に気を付けようと、心から思いました。

〇 誰にでも心が苦しいときがあるから

2年生では、毎年「誰にでも心が苦しいときがあるから」というリーフレットをもとに、スクールカウンセラーの先生から、「いのちの授業」をしていただいています。今年もSCの小野先生から、「こころのもやもや度チェック」をしたり、こころが苦しくなった時、どうしたらいいのかを考えたりしながら、「誰かに相談されたとき、どんなふうに話を聴くといいのだろう。」ということについて知ることができました。まとめでは、大切な3つのメッセージを確認しました。

- 「だれにでもこころが苦しくなるときがある」…みんな一緒です
- 「どんなに苦しくても、必ず終わりがある」…時間が解決します
- 「だれかに相談できる力を持とう」…そんな誰かになれたらいいね

